

## プラネタリウム番組制作及び組込業務 要項

プラネタリウム番組制作及び組込業務に関する提案は、この要項に基づいて行う。

### 1. 番組の配給と組込み

豊橋市視聴覚教育センターの特色（既存展示物や科学教育活動）を生かし、市民に親しまれ、魅力的で集客力があり、天文分野をはじめ科学教育の振興を楽しく推進する番組を配給し、機器に適するよう制作調整し、組込むものとする。

#### (1) 組込番組数（提案業者が新たに組込むもの）

- ① 科学教育やヒーリング系分野で魅力ある番組（20～30分程度のオート番組）3番組以上
- ② 子ども（園児から小学校低学年）とその家族向けの魅力ある番組（20～30分程度のオート番組）2番組以上
- ③ 小学校高学年を対象とした天文教育番組1番組（5月～12月にかけて行うわくわく体験活動で使用する：長期上映権付で、上映期限は令和7年12月末以降であること。）
- ④ 春・夏・秋・冬の季節ごとの星空解説番組（10分程度のオート番組の中で、必ず光学式プラネタリウム「パンドラ」を使用すること、①または②とあわせて40分程度の時間で放映が可能であること）各季1番組。放映日による惑星の位置が自動的に変更されるものが望ましい。
- ⑤ その他、特別な企画による番組、イベントの提案（任意）

※自然史博物館大型映像の内容と重複が少ないものであること。（公開予定がわかる範囲で）

※人気キャラクターが登場するなど集客が見込まれる番組が含まれること。

※①②③⑤についても、光学式プラネタリウムとの効果的な連動があれば表記すること。

※①②の番組については、対象層や他館での集客実績や推定値などを具体的に示すこと。

※別紙2の「プラネタリウム番組制作及び組込業務提案書等作成要領」の2の(1)提案書の中に、①②⑤の放映スケジュール（どの期間にどの番組をどのように放映するかを提案したもの）を必ず入れること。

#### (2) 組込形式 ○(株)五藤光学研究所製 パンドラ・ハイブリッド

- ・光学式プラネタリウム（PANDORA／パンドラ、昇降可）
- ・全天デジタル映像システム（バーチャリウムⅡ release 4）  
※音響用PC1台含む
- ・プロジェクター機種 ビクターDLA-F110 センター2台打ち  
※今年度更新予定

#### ○(株)リブラ製 HAKONIWA2

- ・全天周ビデオプロジェクションシステム（Amateras Dome Player）  
上記光学式プラネタリウムとは同期機能無し、ただし同時再生は可能
- ・スペースエンジン未搭載
- ・プロジェクター機種 ビクターDLA-PX1 2台打ち  
※今年度更新予定

#### ○映像（動画）として対応するデータ形式並びに音声のデータ形式は以下のとおり

- ・画像ファイル（PNG、JPG、BMP、TIFF）
- ・動画対応フォーマット（MPEG、AVI、WMV、MP4、MOV、ASF、ASP）  
※連番画像ファイル（PNG、JPG、BMP、TIFF）でも納入すること
- ・音声 2ch WAV、MP3、WMA  
5. 1～7. 1ch WAV

### 2. 番組の宣伝 各種の宣伝手段を用いた番組及び当センターのPRの提案を行うこと

### 3. 制作納入品

- (1) 各番組の投映データ（動画・音声・スクリプト）は、プラネタリウム機に装着しているメインのハードディスクのほか、サブのハードディスクにもコピーを行うこと。
- (2) プラネタリウム機に装填するデータ以外に、各番組のバックアップ用データ（画像・音声・スクリプト）をハードディスクに記録・納品すること。
- (3) 広報用素材データ（広報物利用マニュアルやトレーラーを含む。）
- (4) ポスター・チラシ（番組毎に A2 版ポスター500 枚、B5 版チラシ 500 枚を上限とする）※ポスターは 4 つ折りで納品のこと

### 4. 番組組込・投映にかかる条件

- (1) 組込作業可能日 原則、令和 4 年 7 月 1 1 日～1 5 日、1 1 月 2 9 日～3 0 日とするが、投映スケジュール等に支障をきたさなければ、協議の上、追加も可能。  
※連番画像ファイルから投映用動画ファイルへのエンコード（スライス）については、事前に連番画像ファイルが納品され、当館側で作業しておくものとする。
- (2) 投映期間 令和 4 年 7 月 1 6 日～令和 5 年 7 月 1 5 日  
※小学校高学年を対象とした天文教育番組を除く。
- (3) 投映回数
  - ・土曜・日曜・祝休日：1 日 4 回程度投映
  - ・平日：1 日 1 回程度投映
  - ・特定期間（春・夏・冬休み等）の平日：1 日 4 回程度投映
- (4) 休館日 月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合はその翌平日）  
12 月 29 日～1 月 3 日  
※臨時開館する場合あり
- (5) 開館時間 9：00～16：30
- (6) その他 豊橋市視聴覚教育センターが永久・長期上映権を持つプラネタリウム番組は以下のとおり（これらの番組を投映スケジュールに組み入れることも可）
  - ・「宇宙エレベーター ～2061 年豊橋から宇宙の旅～」(28 分)
  - ・小学 4 年生向け学習番組「スタジオ 444 空のフシギを探れ！」(25 分)
  - ・学習「THE MOON 月のふしぎ」(25 分)
  - ・「はじめての宇宙（春・夏・秋・冬）」(各季 15 分)
  - ・「葉っぱのリーフのものがたり」(21 分)
  - ・「星を見に行こう」(25 分)
  - ・「みずものがたり」(25 分)
  - ・「1 2 星座物語」(10 分)
  - ・「時間、空間を超える小宇宙」(26 分)
  - ・「火星」(12 分)

### 5. 補足事項

- (1) 組込作業に起因する機器の故障、不良動作については組込業者の責任により無償で修理・調整を行うものとする。また、それに伴う損害が発生した場合は、損害賠償の対象となるものとする。
- (2) 番組に使用する音響や映像等の著作権等は投映開始前に解決しておくこと。
- (3) 投映スケジュールは提案されたものをもとに協議し、実際のスケジュールを決定する。

## プラネタリウム番組制作及び組込業務提案書等作成要領

## 1. 提案書の位置づけ

審査はこの要領に基づいて作成された提出資料により、番組選定委員会において行う。なお、提案内容については対面または動画提出によるプレゼンテーションの機会を設ける。プレゼンテーションの方法については決定次第通知する。

## 2. 提出資料

別紙 1「プラネタリウム番組制作及び組込業務要項」に基づき、次の資料を作成し提出する。

**ただし、(1)～(6)までの資料等には会社名を記載しないこと。(厳守)**

- (1) 提案書 別紙 3「審査項目及び評価基準」に基づく内容で、別紙 4「提案書作成様式」に沿って作成したもの。A 4 両面 4 枚以内。
- (2) 番組紹介 A 4 両面 4 枚以内 (別紙 1 の①②③④ (5) の全ての番組)
- (3) 番組 DVD 各番組の全編  
※別紙 1 の④星空解説番組については、組み込み機器による効果の違いがあるので、光学式プラネタリウムの使用部分と内容・雰囲気分かるよう可能な範囲で全編を動画にしたものでよい。  
※制作途中であるものは、ダイジェスト DVD 等に、映像イメージや台本、製作スタッフリスト等により完成作品の内容が判断できるようにした資料を添えて、全編の DVD の代りとする事。  
※DVD については、標準的な DVD プレーヤー環境で再生できること。
- (4) 会社概要 A 4 両面 1 枚以内
- (5) 光学式及びデジタル式プラネタリウムによる番組配給実績 A 4 両面 1 枚以内
- (6) 提案内容をプレゼンテーションした動画の DVD 20 分以内  
※対面形式でのプレゼンテーションを行わない場合のみ。  
※DVD の形式については番組 DVD と同様とする。  
**※動画の中にも会社名を示すものを入れないこと。**
- (7) 見積書 他の書類と独立して 1 通を提出すること。

## 3. 資料提出にあたっての留意点

- (1) 提案書作成についての質疑がある場合は、4月8日(金)正午までに別紙6をFAXまたはメールで提出すること。
- (2) 質疑に対する回答は4月12日(火)午後5時までにホームページ上に掲載し、応答事項はこの要領への追加または修正とする。
- (3) プロポーザル参加意向申出書は4月15日(金)午後5時までにFAXまたはメールで提出すること。
- (4) 提出期限後の問合せ、提出資料の差し替え・修正等はこちらからの指示によるものを除き不可とする。

#### 4. 資料の提出方法等

- (1) 提出方法 豊橋市視聴覚教育センターへ郵送または持参
- (2) 提出期限 4月21日(木)午後5時必着(提出期限を過ぎたものは受け付けません)
- (3) 提出部数 提出資料(1)～(6) 7部  
※(6)は対面形式でのプレゼンテーションを行わない場合のみ。  
提出資料(7) 1部  
※DVD等を含め提出書類等は返却いたしません

#### 5. 審査方法

- (1) 審査は、プラネタリウム番組選定委員会により行い、1者を選定します。
- (2) 審査経緯については公表しません。
- (3) 審査結果については5月下旬に通知します。
- (4) 審査結果についての異議申し立ては受け付けません。
- (5) 提案書の提出期限に遅れた場合や、審査結果に影響を与える不正があった場合は失格となり、審査の対象としません。

### 審査項目及び評価基準

提案は、この審査項目に沿って行ってください。

審査項目	評価基準
1. 番組そのものに関するもの	
内容 (30点)	科学教育やヒーリング系分野の番組は大人が十分に楽しめる見ごたえのある内容であるか。
	園児・小学校低学年とその家族向けで子どもの関心の高い魅力的な番組が提案されているか。
	小学校高学年を対象とした天文教育（代表的な星座や星の動きなどの基礎的天文知識）番組が提案されているか。
映像 (10点)	映像のクオリティはどうか、全天周映像や光学式プラネタリウムが有効かつ効果的に使用されているか。
集客 (40点)	科学教育やヒーリング系分野で魅力ある番組は、口コミやリピーターが期待できるか。対象層や他館での実績や推定値が示されており、それが当館での集客に適したものであるか。
	人気キャラクターが登場するなど集客が見込まれる番組が提案されているか。対象層や他館での実績や推定値が示されており、それが当館での集客に適したものであるか。
	社会的な関心や天文現象を活かすなど、戦略的な集客が狙えるか、利用層の拡大や広域的な集客の可能性はあるか。
	番組の投映スケジュールが、番組内容や季節感などに対して適切なものであるか。
2. 番組の宣伝に関するもの	
宣伝 (10点)	効果的な宣伝方法の提案があるか、具体的宣伝素材・記念品などの提供があるか。
3. 経費に関するもの	
経費 (10点)	提案者の参考見積額の最低額を満点とし、他の提案者を相対的に数値化する。（小数点以下一桁）

評価点：特に優れている (A) …1.0、優れている (B) …0.8、普通 (C) …0.5、やや不十分 (D) …0.3、不十分 (E) …0.0

配点×評価点を各審査項目の点数とする。ただし、経費については配点×最低提案額÷提案額の値を点数とする（小数点第二位を四捨五入）。